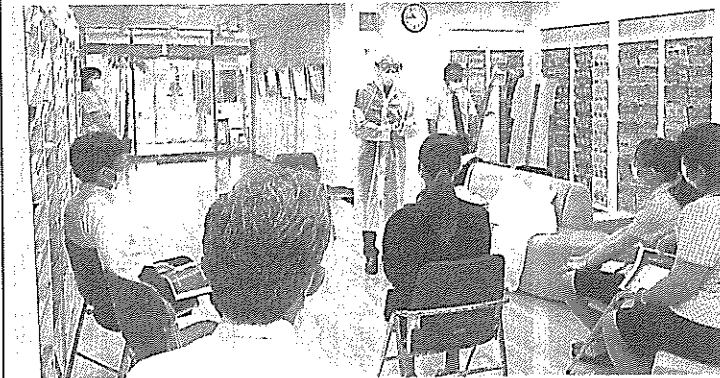


三八五観光はコロナ対策を しっかり実施しております



三八五観光(八戸) 安全と経済両立へ

旅行先を厳選、入念に除菌…

新型コロナウイルスの影響を受けている観光旅行の回復に向けて、八戸市の三八五観光がさまざまな対策を積み重ねている。感染防止を徹底しつつ、県内から隣県へと段階を踏んで旅行範囲を徐々に拡大、10月には三沢空港振興会と連携し首都圏などを経由せずに遠隔地へ行くチャーター便ツアーを行う。田中義弥代表取締役専務は「旅行を望んでいる人も多い。安全と経済を両立させていきたい」と語る。(近藤弘樹)

コロナ対策あの手この手

同社は感染防止として、本社や県内外の支店ごとに従業員対象の講習を行い、独自のコロナ対策・対処マニュアルを作成した。旅行時は、消毒液や除菌シートによるこまめな除菌、マスクやフェースシールドの着用、バス車内は2座席を1人で使用するなどの対策を実施。参加者にアンケートを行い「食堂の従業員がマスクを着けていなかった」などの意見があると該当する施設に出向き改善を要請している。

旅行先は、6月に県内日帰りバスツアーを再開。宿泊に関しては、7月から三八五グループ社員対象の旅行を実施して状況を確認しつつ、岩手県への1泊旅行を始めた。10月には感染者の少ない地方同士を結ぶ手法で三沢空港発着の2泊3日のチャーター便ツアーとして能登半島行き(15〜17日)と種子島・屋久島行き(24〜26日)を行う。

同社旅行企画部の奥瀬義人部長は「コロナ対策は予断を許さないので、旅行全般の本格的な再開には時間がかかるかもしれない。常に緊張感を持って、安全な旅行の提供に取り組んでいく」と話している。

【写真上】バス車内でマスクとフェースシールドを着用して案内する添乗員。運転席には飛沫(ひまつ)防止シートを付けている(同下)新型コロナウイルス感染症防止対策や対処法を確認した社内講習会(6月)にも三八五観光提供)

東奥日報に掲載されました